

★新型コロナ禍と中東＝栗田禎子（千葉大学教授）

新型コロナウイルス（COVID-19）が蔓延し、世界全体での感染者が 2770 万人（WHO による 9 月 10 日 現在の発表）に達する中で、中東での感染者数も 200 万人近くにのぼることが報じられている。新型コロナの破壊的影響は私たちすべてが痛感しているところであるが、今日の 世界において（政治・社会・経済等 すべての面で）ただでさえ困難な状況に置かれている中東の人々にとって、事態は一層深刻だと言える。

アメリカの「イラン敵視」政策とコロナ

中東で COVID-19 感染拡大が最も早く顕在化したのはイランである。（「感染症」というものの特性ゆえか、今回のコロナ禍はまず中国、そして最近はアメリカというように、現在の世界の中でやはり最も経済的・政治的に重要であり、人や物の移動が活発な国を結節点に展開している観があるが）、中東で最初にコロナ禍が拡大したのがイランであることは、ある意味で同国が現在の中東における「大国」であり、経済・政治ネットワーク上のハブを成していることを示しているのかもしれない。

感染拡大を抑え込むべく、イラン政府は市場や学校、モスクの閉鎖 までも含む厳しい措置に比較的早く から踏み切ったが、累計感染者数は 39 万人にのぼっている。特に深刻なのは今回のコロナ禍が、米トランプ政権がイランとの「核合意」（2015 年）から一方的に離脱し、経済制裁 を再開してイラン封じ込め政策をとったため同国の経済状況が悪化しているさなかに起きたことで、このためイランはコロナとたたかう上で 国外からの支援が得られない、また（厳しい財政状況下では）外出規制 等を緩和して経済活動の再開を認めざるを得ず、結果的に感染拡大が抑えきれない、という状態に置かれている。

イランでの感染拡大は近年同国と 政治的・経済的結びつきを強めている周辺地域（イラクやシリア・レバノン等）にも当然影響し、特に隣国 イラクの感染者総数は 27 万人以上にのぼる（イラクでは昨秋来、イラク戦争後に成立した政府の腐敗や、米軍による占領体制に抗議する国民的デモが展開していたが、コロナ感染の拡大はこうした政治運動のゆくえにも一定の影響を与えそうである）。

揺らぐ産油国、外国人労働者・「難民」問題とコロナ

イランと対峙する域内の「大国」はサウジアラビア（こちらはアメリカときわめて良好な関係を持つ）であるが、COVID-19 はここでも猛威を奮い、メッカへの国外からの巡礼 受け入れ中止 (!) という思い切った措置にもかかわらず、感染者総数は 32 万人にのぼる。サウジをはじめとする湾岸産油諸国にとっては、これに加えて、コロナ蔓延による世界経済の沈滞に伴う石油需要の減少（特に中国）と原油価格の下落が 深刻な問題である。さらに湾岸産油 諸国では（中東だけでなく東南・南 アジア等出身者を含む）多数の外国人労働者が働いているが、これらの 人々への感染状況（統計には表れない）や、検査・治療がどうなっているのかも大きな問題である。

チュニジア、エジプト等、(2011 年の「アラブの春」の舞台ともなった) 北アフリカの諸国は厳しい感染 防止策をとり、抑え込みに比較的 success しているとされるが、エジプトの感染者数は 10 万にのぼり、また（これら諸国にとって重要産業である） 観光業への影響は甚大である。

現在中東では（約 500 万とされるシリア難民をはじめとする）多くの 難民が国境を越えて移動・分布しており、これらの難民の間にも当然コロナの蔓延は見られるはずだが、その全容は不明である。レバノンでは近年の経済状況悪化や政治的腐敗に加え、膨大なシリア難民流入に伴う問題も抱えているが、コロナ禍は同国の窮状（今夏はベイルートでの大爆発事件も発生）に拍車をかけている。

危機に直面するパレスチナの人びと

最後にイスラエルによる弾圧・占 領にさらされてきたパレスチナ、特にガザ地区においても、コロナ禍が 深刻化していることに注意したい。ガザではこれまで同地区を支配するハマスにより学校・モスクの閉鎖や 検疫所設置等の措置がとられ、感染 が防止されているかに見えたが、8 月下旬に初の「市中感染」者が報告された。現在感染者は 2 万人以上にのぼり、医療従事者の感染も発生している。イスラエルによる封鎖下に置かれ、「巨大な監獄」とも言われるガザは、日頃から医療物資が不足し、電力・水道供給も不安定なので、 コロナ禍が拡大すればきわめて悲惨な状況になることが危惧される。

コロナ禍は全世界にとっての危機であるが、中東のように戦争や占 領」という事態に直面してきた地域の人々をさらに苦しめ、一層追い詰めていると言える。パンデミックによって人類全体が脅かされ、世界が 一丸となって協力する

ことが求められている現在、(中東を標的とする 新たな戦争を煽る) 米トランプ政権 による「イラン敵視」政策や、イス ラエルによるパレスチナ占領、「ガザ封鎖」続行は、犯罪的なのではないだろうか。——コロナと対処するには、現在の世界における政治的な不正義や戦争をなくすのが最重要課題であることを、中東の事態は示しているように思われる。

(以上)